

～第5学年「みんながENJOY! SUPER プレールボール!」(E ボール運動 イ ネット型)～

(1) 子どもたちの実態や思いを大切にしたらルールや作戦の工夫

本校の体育館の広さとチーム編成や運動量の確保を考慮し、6チームが常に運動ができるように3コート、セルフジャッジとした。ボールは、ボール運動を苦手とする児童でも抵抗なくゲームを楽しめるように、弾みやすく柔らかいソフトドッジボールを使用した。

ボール運動は、ルールやマナーを守り、仲間とゲームの楽しさや喜びを共有することができるようにすることが大切である。ルールは「基本のルール」を提示した後に、「ワンキャッチあり」というルールを取り入れるかどうかという点について全員で検討した。「バウンドが苦手な人もやりやすい。みんなが楽しめる。」「壁に当たりそうな時にワンキャッチが利用できる。」など、様々な理由が出され採用することになった。このルールを決めてから、以前よりラリーが続いたり、作戦の幅が広がったりすることにつながり、チームワークを高める効果があった。



コーンとバーで3コート



ソフトドッジボール



セルフジャッジ得点板

(2) ボール操作に慣れるための運動形態の工夫

単元を通して、毎時間、個人、ペア、グループでのボール操作の時間を確保した。スイッチオンタイムでは、個人やペアでの操作の種類を多く取り入れた。プレールボールは、バウンドでつないでいく運動であるため、様々な形態での経験が必要だと考えた。また、ゲームの前の活動として、チームでの「対面チャレンジ」「アタックチャレンジ」の時間を設定し、3分間でラリーを続けたり、アタックの練習をしたりする場を作った。得点を競うものではないため、チーム内の課題や作戦の練習のためにこの時間を積極的に利用する児童の姿があった。十分にボールに慣れ親しむことができ、後半のゲームに生かすための技能の定着につながった。

※ 学習計画及び詳細計画(日時間版)：本時の時間目

学習計画	運動への関心・意欲・態度			運動についての思考・判断		運動の技能		
	1	2	3	4	5 [本時]	6	7	8
10分	あいさつ スイッチオンタイム(準備運動) 道具の準備(ボール・カラーコーン・バー)							
20分	本時のめあて・グループで個人のめあての確認・場作り							
30分	対面チャレンジ1 プレールキャッチラリー(1キャッチ)		対面チャレンジ2 入れ替わりプレールラリー(1キャッチせずに続ける)		アタックチャレンジ		作戦と練習タイム	
40分	作戦と練習タイム							
50分	みんながENJOYゲーム1							
60分	一音の直接的指導							
70分	みんながENJOYゲーム2 同じ対戦相手ともう一度行う							
80分	チーム毎に直接的指導							
90分	みんながENJOY! SUPER プレールボール大会							

単元計画表への位置づけ